

総合負荷性能検査について

2026年5月13日

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

【概要】

- 定格熱出力のもとでプラントの運転を行い、各設備の圧力、流量などのデータを記録し、プラント全体が正常に機能していることを総合的に確認する。
- 記録するデータについては、原子力規制委員会規則に定める「実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則」および「柏崎刈羽原子力発電所 原子炉設置（変更）許可」により要求される機能を確認するために必要な項目を設定している。

【データについて】

<対象データ>

- 原子炉関係
 - タービン関係
 - 電気関係
 - 放射線管理関係・その他
- 合計約250点**

※詳細については次頁参考

<データの記録方法>

- 中央制御室での計器読み取り
- 試料の採取・分析（原子炉水等）

<データを記録する頻度（計器読み取り）>

- 30分ごとに1回 連続4時間

【対象データ（抜粋）】

■原子炉関係

- 平均出力領域モニタ、原子炉圧力、原子炉水位、主蒸気流量、給水流量など
- その他、原子炉冷却材再循環系、制御棒駆動系、原子炉冷却材浄化系、原子炉格納容器、格納容器サンプ、原子炉補機冷却系、燃料プール冷却浄化系などの関連データ

■タービン関係

- 主蒸気圧力、主蒸気温度、給水加熱器出口温度、主タービン回転速度、高圧タービン排気圧力など
- その他、復水器関連データ

■電気関係

- 発電機有効電力、発電機電力量

■放射線管理関係・その他

- 排ガス放射線モニタ、主蒸気管放射線モニタ、非常用ガス処理系排ガス放射線モニタ、排気筒放射線モニタ、モニタリングポスト、原子炉水（よう素131、全放射能）など

6号機の営業運転を開始しました

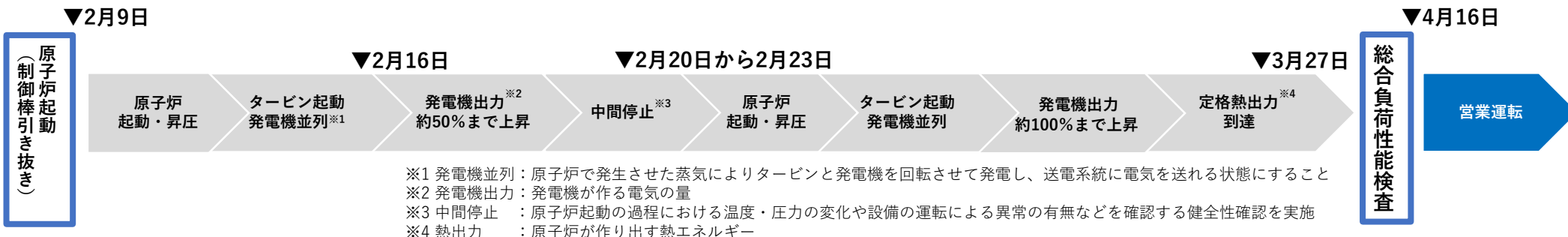
※4月16日現在の情報のため、最新情報は「柏崎刈羽原子力発電所 情報ポータル」をご確認ください。

6号機は、使用前事業者検査の最終検査となる総合負荷性能検査を4月16日に実施しました。

また、同日に原子力規制委員会より使用前確認証※1、使用前検査合格証※2の交付を受け、営業運転を開始しました。

※1「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」に基づく確認完了の証 ※2「電気事業法」に基づく合格の証

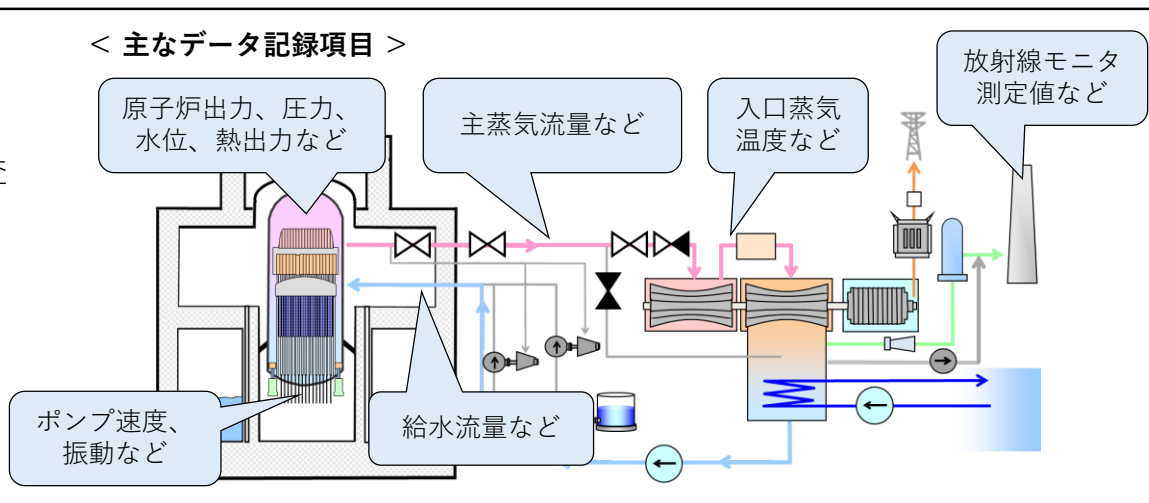
6号機 営業運転までの主な工程



総合負荷性能検査

- 原子炉が定格熱出力に到達したのち、使用前事業者検査の最終検査を実施
- 各設備の圧力、流量などのデータを記録し、プラント全体が正常に機能していることを総合的に確認

< 主なデータ記録項目 >



柏崎刈羽原子力発電所
情報ポータル



▲二次元コードからご覧いただけます。



柏崎刈羽原子力発電所
所長 堀田 武之

柏崎市、刈羽村をはじめとする新潟県の皆さまに、この地で事業を営まさせていただいていることにあらためて感謝申し上げます。

6号機は、4月16日に営業運転を再開しましたが、発電所としてはここから新たなスタートと考えております。

安全に終わりはなく、引き続き、発電所で働く全員が心をついに、ワンチームとなって、6号機の安定的な運転を続けてまいります。

福島第一原子力発電所事故を起こした当事者として、原子力発電所を運営することの責任と意義をあらためて胸に刻み、これからも安全を追求し続けてまいります。

また、地域に根差した企業として、地域の経済発展や持続的な成長に貢献するとともに、この地から日本の電力供給を支えてまいります。